

順天堂保健看護研究

Juntendo Journal of Health Science and Nursing

投 稿 規 程

I. 順天堂保健看護研究募集要項著者および投稿資格

1. 投稿論文の著者とは、投稿された論文に重要な知的貢献をしたもので、研究活動（研究の着想、デザイン、データ回収、分析、解釈）に十分参加し、原稿の作成に関わり、論文の内容について責任を負うことができる者である。資金の獲得、データ収集等の部分的な助言のみを行った者は著者には当たらない。
2. 著者は、次のいずれかに該当する者が含まなければならない。
 - 1) 順天堂大学保健看護学部の専任教員および非常勤教員
 - 2) 順天堂大学教職員（非常勤も含む）、同大学大学院学生、同大学卒業生、同大学研究生、同大学専攻生、同大学協力研究員
 - 3) 編集委員会（当面研究委員会が兼ねる）が認めた者
3. 総説：特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、幅広く概観したもの。
4. 実践報告：教育活動、保健看護実践の報告などで教育・保健看護実践の向上・発展に寄与し、発表の価値が認められるもの。
5. 資料：医療、看護に関連する有用な調査データや文献など研究、教育の参考になるもの。
6. その他：学内活動報告、学会参加報告など、編集委員会が認めたもの。（査読無し）

II. 原稿の種類

原稿の種類は、原著・研究報告・総説・実践報告・資料・その他であり、内容は次の通りである。

1. 原原著：論理的かつ明確な構想に基づき得られた研究結果をもとに、新しい知見が論理的に示され、独創性があり、学術的な意義が明らかであるもの。
2. 研究報告：内容的に原著論文には及ばないが、研究結果の意義が大きく、発表する価値が認められるもの。

III. 投稿にあたっての倫理的配慮

1. 人および動物が対象である研究（総説およびその他を除く）の論文は、倫理委員会の審査を受けたものであり、その旨が本文中に明記されなければならない。また、論文の種類に関わらず、人および動物が対象である研究では倫理的配慮に関する記載は必要不可欠である。
2. 不正行為（捏造、改ざん、盗用等）や不適切な行為（二重発表、二重投稿、分割論文等）が明らかになった場合、当該投稿論文は受理されず、また全ての著者の本誌への投稿を2年間受理しない。
不正行為に抵触するか否かは編集委員会が判断する。

IV. 投稿要領（和文）

1. 原稿の書式
原稿のサイズはA4版とし、ページ設定は40字×40行とする。本文には、ページ下余白の

中央にページ番号を付け、図表を除く左余白に通しの行番号を付ける。原稿提出の際は、論文題目、筆頭者名をファイル名にした電子媒体(表紙に論文題目のみを記載)を添付し、提出先に送信する。

2. 原稿の長さ

投稿原稿の1編は、本文、図・表、文献を含めて下記の字数以内とする(総文字数)。図・表の大きさや文字数は、原則として1/4頁が400字、1/2頁が800字、3/4頁が1200字、1頁が1600字とする。

- 原著 16,000字(10枚)
- 研究報告 11,200字(7枚)
- 総説 16,000字(10枚)
- 実践報告 11,200字(7枚)
- 資料 11,200字(7枚)
- その他 11,200字(7枚)

3. 原稿の構成

1) 表紙

論文題目、著者名、所属を和文・英文でつけ、希望する論文の種類、連絡先を記入する。

2) 要旨とキーワード

論文には、和文要旨(500字以内)と5個以内のキーワード(和文・英文)をつける。原著の場合は、英文要旨(300語以内)もつける。英文要旨はネイティブ・チェックを受ける。

3) 本文

- (1)各章の見出し番号は、I、1、1)、(1)、①の順とする。
- (2)単位は、m、cm、mm、g、mg、l、ml等とする。
- (3)略語は慣用のものとする。一般的でない略

語を用いる場合は、論文の初出のところで正式用語とともに提示する。

(4)文字カウント

以下の手順により総文字数を確認する。

①Microsoft Word

「校閲」から「文字カウント」に入り、「テキストボックス、脚注、文末脚注を含める」にチェックを入れる。

②日本語の場合

〔「文字数(スペースを含まない)」－「全角文字+半角カタカナ」〕÷2+〔全角文字+半角カタカナ〕+換算された図表文字数=総文字数

③英語の場合

〔半角英数の単語数〕+換算された図表文字数=総文字数

(5)図・表の作成

図表は、原稿本文とは別に巻末に添える。図表を本文中に挿入する場合は、挿入箇所に赤字で図表番号を入れる。また、イメージ通りの掲載にするために、図表のみのPDFファイルを別に作成する。

4) 文献

図文献は主要なものに限定し、印刷されたもの、入手可能なものが望ましい。引用文献は、原則として、引用順に番号をつけて配列し、引用箇所には肩付き数字1) 2) 3)などを記入する。参考文献を入れる場合は、著者名のアルファベット順に末尾にまとめる。著者名は3名まで列挙し、それ以上は「他」で続ける。

欧文雑誌名の省略はIndex Medicusの省略名に準拠し、和文雑誌名は省略しない。

ウェブページ掲載のデータは削除される可能性があるため引用はあまりお勧めしないが、

やむを得ず引用する場合は、必ずコピーを保管する。

〈引用文献の記載例〉

①雑誌の場合-----著者名：論文名，雑誌名，巻（号），頁－頁，西暦年.

例) 江藤千里, 萩本理恵子, 栗原亜希子, 他: 先天性横隔膜ヘルニア患児の周術期看護の検討, 医療看護研究, 6(1), 37-43, 2010.

②単行書の場合---著者名：書籍名 版，発行所，発行地，頁－頁，西暦年.

③翻訳書の場合---原著者名：原書名，原書発行年，翻訳者名，翻訳書名 版，頁－頁，翻訳書の発行所，翻訳書，西暦発行年.

④ウェブページや PDF ファイルからの引用の場合

●ウェブページからの引用---著者名(投稿・掲載年月日、不明な場合は n.d.)：タイトル(閲覧日の年月日)〈URL (Uniform Resource Locator)〉

例) 厚生労働省 (2019.5.15)：中央労働災害防止協会編 製造業における派遣労働者に係わる安全衛生管理マニュアル (2020.12.20 閲覧)

<<http://www.mhlw.go.jp/newinfo/kobetu/roudou/gyousei/anzen/091130-1.html>>

●PDF ファイル等の電子出版物からの引用---基本的に冊子の雑誌の引用スタイルに準じて表記し、URL を明記する。

例) 女性と仕事の未来館 (2010.6.6)：働く女性の統計派遣労働者数の推移 (2022.10.10 閲覧)

<http://www.miraikan.go.jp/toukei/002/statistics//data_H21/p089.pdf>

V. 投稿要領 (英文)

1. 英文による投稿は、参考文献、注、図、表も含め、原著 8000 語、研究報告 5600 語、総説 8000 語、実践報告 5600 語、その他 5600 語を超えないものとする。
2. すべての投稿は A4 用紙に上下左右に 2.5cm 以上の余白を取り、半角 80 字× 40 行に設定し、フォントは 12 ポイントの Times New Roman を使用する。
3. 表紙をつけ、英語および日本語のキーワード(5 つ以内)、タイトル、氏名、所属を記入すること。原著については英文 300 語、日本語 500 字を超えない要約をつける。
4. 英文は、要旨および本文ともにネイティブ・チェックを受け、その証明書を投稿時に提出する。

1. Original Articles and Review Articles must not be more than 8000 words in length, including references, notes, tables, and figures. Research Reports submissions and Practical Reports submissions should be not more than 5600 words in length. Others should be not more than 5600 words.
2. All submissions must be typed on A4 or 8.5 "X11" paper. Leave margin of at least 1 inch at the top, bottom, right, and left of every page. Set the lines as 80 strokes X 40 lines. The font should be 12 point-sized Times New Roman.
3. The first page of the file should be a cover sheet that includes 5 or less keywords (English and Japanese), the title, author's name and identifying references should appear only on the cover sheet. An Original Article should be attached with an abstract (no more than 300 words in English and 500ji in Japanese).
4. A certificate of English proofreading of the

submitting manuscript should also be attached
(Manuscript and Abstract).

VI. 投稿原稿の添付資料

投稿原稿には、原稿の種類に関わらず、二重投稿および同時投稿でない旨を記載した誓約書（著者全員が署名・押印した書面）を添付する。

VII. 原稿無返却

投稿原稿は原則として返却しない。原稿が不採択となった場合は、当委員会にて情報漏洩のないよう責任を持って破棄する。

VIII. 論文の採否

1. 査読が必要な論文に対しては、原則2名の査読者が査読を担当する。査読期間は2～3か月を標準とし、査読・改稿のサイクルは最大3回までとする。字数制限の変更を伴う論文種別の変更が行われた場合、査読回数はリセットされ、そこから3回までとする。
2. 審査は、筆者・査読者ともに匿名で行う。審査に関する問い合わせは受けない。
3. 査読意見を踏まえた上で、掲載の有無や書き直しの指示等の最終決定は編集委員会が行う。修正がその年度の製本に間に合わなかった場合、著者の取り下げがなければ、次年度の掲載の有無について編集委員会で検討されることがある。
4. 査読結果が投稿者に送付されてから、修正期間内に改稿され再提出するまでの期限が守られない場合は不受理となることがある。
5. 形式等、学術論文の要件を整えていないと判断された場合、査読前に編集委員会の検討により掲載不可とみなされる場合がある。

IX. 校正

著者校正の際に大幅な加筆修正は認めない。提出期限を遵守することを原則とする。校正は原則として1回とする。

X. 著者が負担すべき費用

掲掲載料は無料とする。

別刷りは30部まで無料とし、それを超える部数は著者負担とする。その他、規程を超える部分の印刷や印刷上特別な費用（カラー写真など）を必要とした場合は著者負担とする。

XI. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、順天堂大学保健看護学部に帰属し、同学部が電子化の権利を有する。

XII. 原稿提出先

指定ファイルを添付し、以下のメールアドレス宛に提出する。

mishima_library@juntendo.ac.jp

XIII. 附則

この投稿規程は平成23年11月1日より発効する。
この投稿規程は平成28年4月1日より発効する。
この投稿規定は平成30年4月1日より発効する。
この投稿規定は令和3年7月6日より発効する。
この投稿規程は令和4年6月17日より発効する。
この投稿規程は令和5年3月20日より発効する。